

# Weekly Bulletin

2014-2015



RI会長  
ゲイリー・C.K. ホアン  
(黄其光)



## 静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
伊藤洋一郎

## 第 2703 回例会

平成 27 年 2 月 16 日 天候 晴れ

《司 会》 佐藤長巳 君(静岡 RC)

《合 唱》 「君が代」  
「奉仕の理想」

《講 師》 日本銀行静岡支店  
支店長 服部守親様

### 《参加クラブ会長紹介&出席報告》

#### 参加クラブ会長

・静岡南 RC	勝又肇	会長
・静岡日本平 RC	村松克己	会長
・静岡西 RC	高橋雅実	会長
・静岡中央 RC	高橋義孝	会長
・静岡北 RC	鈴木勉	会長
・静岡 RC	浅原諒蔵	会長
・静岡東 RC	杉山明喜雄	副会長

#### 各クラブの出席数

・静岡南 RC	19 名
・静岡日本平 RC	30 名
・静岡西 RC	27 名
・静岡中央 RC	33 名
・静岡北 RC	24 名
・静岡 RC	73 名
・静岡東 RC	40 名
合 計	246 名

### 《ホストクラブ会長挨拶要旨》



市内7クラブのロータリアンの皆様  
こんにちは。本日は  
7クラブ合同例会に  
大勢様、ご参加いた  
だき誠に有難うござ  
います。私、ホスト  
クラブの静岡ロータ  
リーの会長、浅原で  
ございます。昨年度、  
地区幹事の節には皆

様方に大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げ  
ます。

さて本日の市内7クラブ合同例会ですが、後程 日本  
銀行静岡支店長の服部守親様にご講演をいただきます  
が、その前に少しホストクラブ会長としてご挨拶を申  
し上げます。本日は2月16日ですが、一週間後の2月  
23日はロータリークラブ発足の日です。言うまでもあ  
りませんが、今から丁度110年前の1905年2月23日  
にシカゴでロータリークラブは誕生いたしました。20  
世紀初頭のシカゴの街は、著しい経済発展の陰で商業  
道徳の欠如が目につくようになっていました。そのよ  
うな中、青年弁護士であったポール・ハリスはこの風  
潮を憂い友人3人と語らって、お互いに信頼できる公  
正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係  
にまで発展するような仲間を増やしたいと、と云う趣  
旨でロータリークラブという会合を考えたとされて  
おります。その時から110年と云う時間が経過した現  
在、世界は20世紀初頭のシカゴ以上に商業道徳の欠如  
のみならず、生産や消費と云ったあらゆる面で、取り  
訳政治や経済に於いて、より複雑な問題を抱えている  
ように思えます。今の時代を生きている私達は、それ  
ら問題を少しでも解決をして、より良いものとして次  
の世代に、次の時代を担う人々に受け継いでいく義務  
があるように思えます。グローバル資本主義経済の時  
代と云われる現在は、ポール・ハリスの時代とは経済  
の仕組みも価値観も大きく違いますが、ロータリー精  
神はいつの時代にあっても通じるものがあるように思  
えます。

そして、もう一つ。今月、2月は世界理解月間です。  
特にロータリーの創立記念日である2月23日は「世界  
理解と平和の日」とされており、2月の世界理解  
月間には、世界平和のために理解と善意を強調するプ  
ログラムを行うよう要請されておりますが、まさしく  
世界理解が最も求められている時期ではないでしょ  
うか。市内7クラブ合同例会と云うことで、少々 大上段  
に構えた挨拶となってしまうましたが、この後 日銀静  
岡支店長の「静岡への期待 私が静岡を愛する理由」  
と題して記念講演が行われます。温暖で住みやすい処



なのに何故か、人口の流出がワースト2と云う静岡その辺の解説も伺えればと思います。

立春を過ぎて少しずつ、日が伸びてまいりましたが、まだまだ寒い日々が続きます。お身体ご自愛くださいませ、今週もお元気で過ごしてください。

## 《講演》

### 「静岡への期待」- 私が静岡を愛する理由 -

服部守親 様



今回の講演は「趣味の話」とのことです。普段の経済関係の講演依頼とは勝手が違うことから一旦ご辞退したのですが、趣味の話の延長に経済・社会のお話とのお引き受けさせていただきました。

趣味といっても胸を張ってお話できる趣味はないのですが、ロータリークラブ入会の際に申告したロードバイクのお話をしたいと思います。

自転車を始めるときは、腰痛をわずらった時に自力で腰痛を克服するなら自転車が良くアドバイスを得たことがきっかけです。自転車を趣味にすることについては、昨年 静岡新聞の夕刊のコラム「窓辺」へ計 13 回寄稿しました。その中で書いたアインシュタインの「人生は自転車のようなもの。バランスを保つためには、前に進み続けなければならない。」は、私が非常に好きな言葉です。物事を立ち止まって考えるとバランスを失って妙な袋小路に入り込んでしまうことが多いと思いますが、「正に自転車は立ち止まると倒れるが自転車のように一生懸命漕いで前に進むうちに色々なバランスがとれて色々なことがフラットに見えてくる」という意味で、自転車にまつわる言葉として紹介しました。

ここからは、自転車を通じて感じた静岡に話を展開していきたいと思っています。静岡の置かれた今の状況と自転車を通じて静岡の魅力との関係について普段話しているような経済社会の関係に話題を変えていきます。私が感じる静岡の魅力は、ガイドブックに載せてもピンとこないアドバンテージです。それは滞在 7~10 日で、なるほどいいねと「じわわ」と伝わってきます。つまり、静岡経験をしてもらうことこそが、静岡にとってとても大事なことなのです。しかし、これほどの観光資源に恵まれているにもかかわらず、そのアピールが不足しているのではないのでしょうか。「十分に他で経済的に儲かる、余裕がある、そんな観光なんかにあくせくしなくても静岡は大丈夫である」が、静岡の長年の常識だったのではないかと感じます。

私は、静岡を立て直す時期が今年ではないかなと思っています。今年、景気について問われると私は必ずこう返答します。「景気は良くなる。その根拠は原油安です。原油安の恵みは、特定の大企業だけが享受する

ものではなく、車を持つご家庭一つひとつが満タンにした時にガソリンスタンドへ支払う料金が ¥1,000 から ¥1,500 へ安くなるという実感が伴うものです。こういった時こそ前向きな投資をしていただきたい、絶好の機会を逃していただきたくない。」と、経済の話をする際は真っ先に申し上げています。

自転車に乗って感じた静岡の恵み豊かを活用することに話を進めますが、東京との距離がアドバンテージと申し上げましたが、その東京がこれから 10 年ぐらいでどう変化を起こすか説明したいと思っています。その東京は、地方から東京への人口流入は減少傾向にあり逆に東京で亡くなるなどの自然減は増加傾向です。また東京から離れた人は意外と多く、50~60 歳代の約 5 割の男性 (60 歳代の女性も 3 割近く) はどこかに移り住んでも良いと思っている。東京オリンピックが終わってから東京はこれから高齢化が深刻化するのもっと東京から移住したいという誘因が働きやすくなると思われます。ここに静岡のチャンスがあると思っています。若い人に来てもらうのは歓迎しますが現実には難しい。でも 15~20 年後に介護を受けるような東京の人たちが、今のうちから静岡に来て元気な時代を暮らして、そこで消費してもらう。そういう場所としては東京から 100~150 km をコンパスで囲むと温暖な静岡が優位です。東京というマーケットにラブコールを送る良いタイミングだと思っています。

#### ■静岡に何ができるか

- ・東京では、今後 10~20 年で 65 歳超になる高齢層予備軍を地方に誘導・移住してもらうことが有用な解決策となる。
- ・この点、静岡は ①東京からのアクセスや、②居住環境 (気候、水、食、コンパクトシティ、医療、防災) の面で大きな優位性。
- ・この優位性を活かし ①健康産業の育成、②余暇を楽しめる大人の街づくり (歴史、芸術、模型、サイクリング等)、③介護の真の産業化、等で静岡の活性化を図れないか。

静岡は今年、家康公顕彰 400 年の大事な年を迎えますが、再考するに最も適した年だと思います。景気が良くなるこのチャンスを活かして静岡発で何かドライブをかけるような街になって欲しいということをお伝えしたいと思ってお話しました。